

# 夜間学校

## 外号

1983年2月23日

夜間学校では、去年12月に大和中央病院をとりあげ、なにか少しでも、改善できないうものかと思ひ、話し合ってきました。大和中央病院のケオオチぶりは、皆さんがご存知のとうりです。

話し合いの結果、要望書を病院に持つていこうということになり、夜間学校に参加した皆さんと一緒に、裏にある要望書を作成し、大和中央にとどけました。

私たちは、少しごも話し合えたらと思つていたのですが、全く、こちらの思ひは伝わりませんでした。これにこりず、今後も、大和中央病院について、考えていきたいと思つて

います。

とにかく、実際に何らかの理由により暴力をうけたり、充分な治療をうけられなかつたり、差別的な待遇をうけたり、不利益をこうむつた経験のある仲間には、ぜひ、連絡してください。

その他、多くの方々の意見も聞かせてください。

|| 連絡先 ||

① 萩の茶屋 2-18-19 旅路の里

キリスト教釜ヶ崎越冬委員会宛

ごんわ 06(647)3946

(日曜、祭日休み 朝10時～夜6時)

② 萩の茶屋 2-15-123

釜ヶ崎解放会館 2階

釜日労・争議団 気付

ごんわ 06(632)4273

西文 切王 書

日頃は、釜ヶ崎にまつとも近い救急病院として、又、他の病院で嫌がる私たちの仲間の診察・入院・治療をしていただき感謝する次第です。

しかしながら、貴病院の日雇労働者に対する対応、ひいては経営方針に對して、多くの仲間が少なからず疑問をもつてゐることも事実であり、この際、下記の様に要望する次第です。

- 一、入院患者に對する面会は病室で行なうこと。
- 一、入院患者の外出は週2回以上にする事。
- 一、点滴は必要最少減にし何の為の点滴か説明すること。
- 一、食事を改善すること。
- 一、患者に對するガードマンの態度を改善すること。
- 一、面会者の所持品検査をやめること。
- 一、重症患者と軽症患者の病室は別々にすること。
- 一、アルコール依存症による禁断症状のごこいな患者をベッドにしばらくしないこと。
- 一、院長は患者に對して暴力をふるわないこと。

以上

附記 この様な要望書を出すにあたり、こは、病気をいかになおすかということが前提であることをつけ加えておきます。

一九八二年十二月三十一日 釜ヶ崎夜間学舎参加者一同